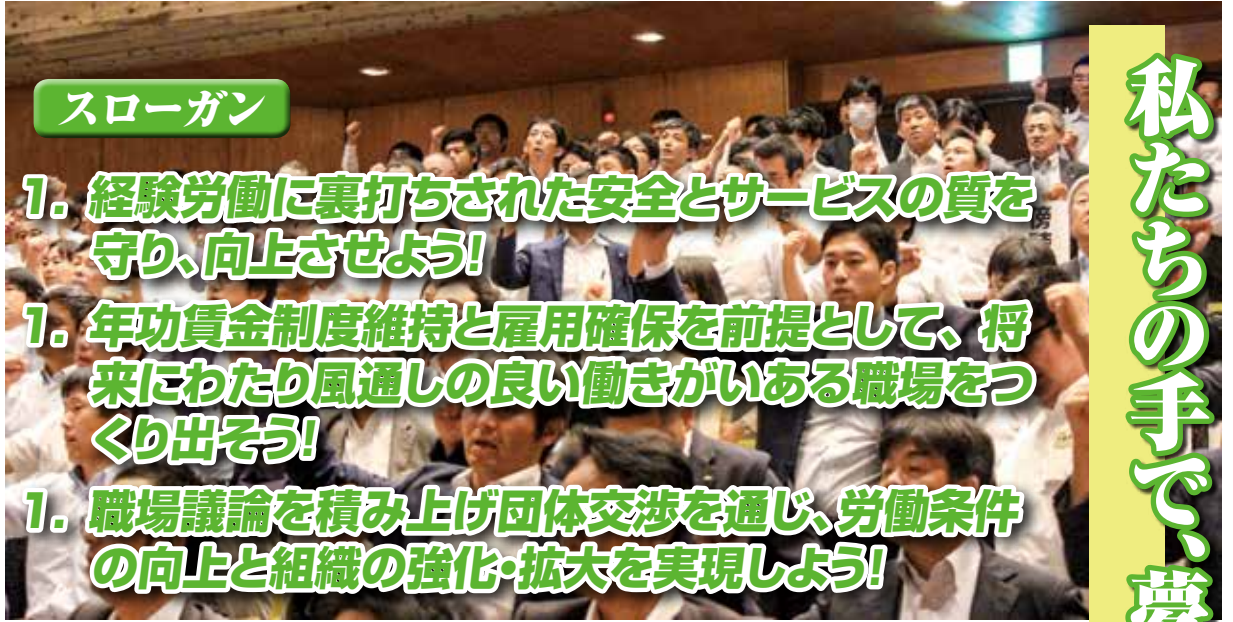


JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
 東京都渋谷区代々木2丁目2番6号
 JR新宿ビル13F 〒151-8512
 電話 03-3375-5740(代)
 2019年7月20日 発行人 山口浩治 編集人 湯ノ目亜矢子
 第699号 月1回発行/一部20円
 (組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
 ←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>



スローガン

- 1. 経験労働に裏打ちされた安全とサービスの質を守り、向上させよう!
- 1. 年功賃金制度維持と雇用確保を前提として、将来にわたり風通しの良い働きがいのある職場をつくり出そう!
- 1. 職場議論を積み上げ団体交渉を通じ、労働条件の向上と組織の強化・拡大を実現しよう!

私たちの手で、夢や希望が叶えられる

新たなジョブローテーションをぜひくり出そう!

会社から提案を受けて以降、タイムスケジュールにも関わらず職場集会の開催などを通しての意見集約や各種会議でも議論を積み重ね、団体交渉後には業務部速報や交渉の議事の読み合わせなどを職場実態に合わせて運動を展開しています。そのことが紛れもなく本部交渉を支え、職場から施策をつくり出していることに繋がっています。

3月28日に「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」の提案を受け、解明申し入れ(その1)(その2)として49項目、新たなジョブローテーションの実施について」に関する申し入れでは要求として25項目の申し入れを行いました。また、5月14日に「賃金制度等の改正について」の提案を受け、解明申し入れとして19項目申し入れしました。そして、3つのスローガンに基づき、働く者が納得感を持って担える施策をつくり出すために団体交渉を行ってきました。

団体交渉で引き出した 会社回答

これまでの団体交渉では、この施策において終身雇用・年功賃金の考え方を変更するものではないことと出向を推奨する施策ではないことを確認しました。

そして「同一担当の従事期間が最長でも概ね10年を超えないように異動又は担当変更する」との提案については、育児や介護、病气等の個別

の事情に配慮し概ね10年に限らない場合があることを確認しました。会社は「多様な経験を積んだ人が熟練者だ」と主張していますが、キャリアを積み選択肢として「同じ職種で違う箇所に異動することもキャリアを描くということ。運転士を極めるという人もいる」という回答を引き出しています。

異動や担当変更については、今施策においてはモチベーションが低下する運用は行わないこと。生活設計、家族状況、育児・介護を踏まえ年齢等を十分に考慮して、本人希望に配慮すること。一人ひとりがキャリアを練り上げるので、これまで以上に納得感が増していくことが回答されました。また、基本は自己申告書による面談で希望を把握し、意識付けにおいても施策の趣旨に踏まえ、公正・公平に運用していくことが回答されています。

新入社員教育、乗務員養成、指導担当、管理者層を含めた人材育成、技術継承・技能伝承の重要性及び必要性についての認識は概ね一致しています。乗務員を養成するための研修計画は現在検討中であるとして示されず、継続して議論を求めています。



時代の変化を踏まえた 要求を行う!

解明交渉から会社は一貫して、社員の夢や希望を叶えるために柔軟な運用を行えるようにモデルチェンジするとしています。一方で、急激な環境の変化に対応していくために生産性を上げないと企業として社会に存在感を示せない、非常に厳しい環境に置かれ、少子化によって鉄道ニーズが変化していくことに対する危機感が述べられています。

私たちを取り巻く環境や情勢は大きく変化していきます。私たち自身がその変化に対応していかなければ時代に取残されてしまいます。

会社は、変革2027における「輸送サービスのトータルコーディネート」「輸送サービススタッフ」等の言葉に表れている通り、総合職的な人材を求めています。それを踏まえた上で、その中における専門職的な人材育成を求め、基本要件を提出し議論してきました。多くの組合員の想いを受けつつ、施策に踏み込んだ議論をつくり出してきました。

再度、基本要件を 申し入れます

今後は、この間の交渉を踏まえ、再度基本要件を申し入れ、3つのスローガンを基軸に、自分自身が描いたキャリアを実現していくために、中央本部は施策に対し建設的な議論をつくり出していきます。

◆提案から現在まで◆

- 3月28日 「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」提案を受ける
- 4月12日 申20号「新たなジョブローテーションの実施」に関する解明申し入れ(その1)【全17項目】提出
- 4月19日 申20号「新たなジョブローテーションの実施」に関する解明申し入れ(その1) 団体交渉
- 5月14日 「賃金制度等の改正について」提案を受ける
- 5月15日 申24号「新たなジョブローテーションの実施」に関する解明申し入れ(その2)【全32項目】提出
- 5月28日 申24号「新たなジョブローテーションの実施」に関する解明申し入れ(その2) 団体交渉
- 5月31日 第1回ジョブローテーション会議
- 6月14日 申1号「賃金制度等の改正について」に関する解明申し入れ【全19項目】提出
- 6月17日 第2回ジョブローテーション会議
- 6月19日 申1号「賃金制度等の改正について」に関する解明申し入れ 団体交渉
- 6月19日 申2号「新たなジョブローテーションの実施について」に関する申し入れ【全25項目】提出
- 6月28日 第3回ジョブローテーション会議
- 7月2日 申2号「新たなジョブローテーションの実施について」に関する申し入れ 第1回団体交渉
- 7月5日 申2号「新たなジョブローテーションの実施について」に関する申し入れ 第2回団体交渉
- 7月9日 申2号「新たなジョブローテーションの実施について」に関する申し入れ 第3回団体交渉
- 7月10日 申2号「新たなジョブローテーションの実施について」に関する申し入れ 第4回団体交渉
- 7月19日 第4回ジョブローテーション会議



先日、保育園の同窓会に参加した。保育園を卒園してから約30年

経過した中で、初めての同窓会が開催された▼私の通っていた保育園は認可外保育施設であり、認可保育では理想とする保育が出来ないという思いから設立されたそう。特徴的には、卒園まで年齢に関係なく同じクラスとして少人数で学ぶスタイルであった▼同窓会では、今の仕事を含めた近況、学生時代の苦勞話、先生の保育に対する思いなどで盛り上がった。振り返れば、教科書や決められたマニュアルもなく、園庭でニワトリとのふれ合い、木登りや泥遊び、園外に出て自然と戯れることを通じて、人として大切なものは何かを考え学んだ▼人や自然に対する畏敬の念を覚えることを学んだのは、この保育園で過ごした時間があったからだと思う。そしてこのことは社会に出て大いに役立っている▼現実を目を向けると、ジョブローテーションをはじめ様々な施策や制度変更により、働く私たちも大きな転換点を迎えている。このような転換期においても人として大切なものを見失わず、仲間を大切に、互いに尊重しあえる職場風土を構築しなければならぬ。(T・S)

夏季輸送が始まります。
健康に気を付けて
安全第一で頑張りましょう!

